

福井豪雨に遭遇して

福井市浄教寺町 伊与 正博

平成16年7月18日早朝、過去に経験したことのない豪雨が、私の住んでいる福井市浄教寺町を襲いました。その時のお話をさせていただきます。

当日は日曜日、通常ならば朝はゆっくりと出来るはずでしたが、早朝5時30分頃に一本の電話で起こされました。近所の一乗谷川の近くに住んでいる人から、新町川の水が増えて道にあふれ出している、怖いから避難するとのことでした。

早速出てみますと凄まじい雨で、新町川が今までに見たことがない水量で、橋の下を流れきらずに道に溢れだしており、泥濁りの水には流木も混じっていました。この流木が橋に引っかかったら、水は一気に住宅へ流れ込んでくるものと思ひ、付近の人たちに私の家へ避難してもらいました。

一乗谷川も増水している。今までになかった水かさである。大きな石がぶつかり合い、鈍い音をたてながら、流木も混じり大きなうねりとなって流れている。こんなものを見るのは初めてである。この水で、町内に架かっている橋を渡ることは出来なくなり、町内は川を挟んで東と西に分断されてしまった。

川向こうの人たちは、町内の集落センターに避難しているはずであるが、確認できない。集落センターの鍵を開けに行きたいが、それも出来ない。自治会の副会長に電話をするが繋がらない。そうしている内に一乗谷川に架かる「梅の木橋」に流木がかかり、水が道路に溢れてきた。

川沿いの人たちはすでに私の家へ避難済みであるが、川から離れた所のお年寄り夫婦が心配になり、若い人に頼んで、おぶって連れて来てもらう。

自治会の副会長に電話が繋がる。殆どの人たちが集落センターに避難しているが、川沿いの家の一人暮らしのおばあちゃんが見えないとのことであった。すぐ手分けして探してもらうことと、全員に避難するよう呼びかけてほしいと願う。

まもなく、顔が見えなかったおばあちゃんも元気で避難していると連絡が入り、これで住民の全てが避難を完了したことになる。一安心である。

何をするすべもなく、ただ降り続く雨と、道を流れている泥水を眺めながら、ただ呆然として時は過ぎていった。

9時過ぎになって、雨も幾らか小降りになってきたので、恐る恐

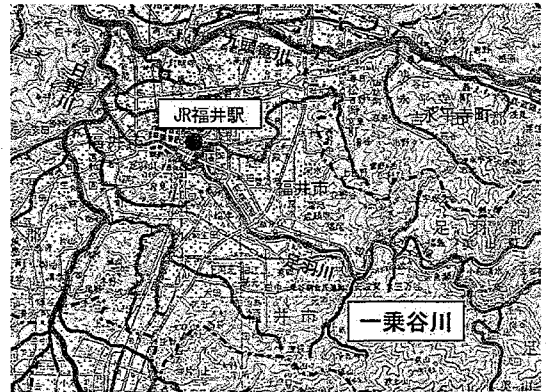


図1.一乗谷川位置図



写真1.福井市浄教寺町航空写真(被災当時)

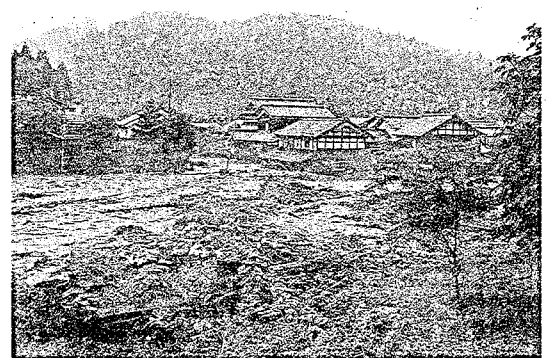


写真2.一乗谷川氾濫状況①

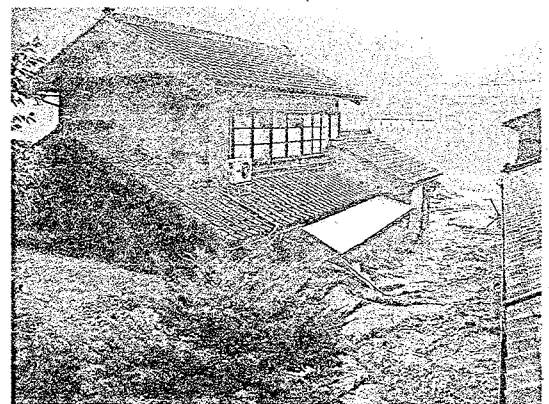


写真3.一乗谷川氾濫状況②

る山伝いに歩いて上流の方に行って見る。町内にある二つの橋は、いずれの橋も流木と土砂に埋まり、そのあった場所さえ分からないくらいになっていた。下流の方の橋は、橋が埋まったせいで川の流れが大きく変わり、宅地や田んぼを飲み込んで新しい川が出来ていた。上流の方の橋は、これまた流木と土砂に埋まって、その橋の両側の家に土石流が流れ込んでいた。さらに上流の方では、川幅が考えられない広さになっていて、その広くなった川幅一杯に泥水が流れていた。この川の真ん中辺に一軒の家があったはずであるが、流されて跡形もない。その下流にある家は、今まさに激流に耐えている状態で、一階部分は殆ど水に浸かっている。この様な状況の中で、どうしてみんなが無事に避難出来たのか。この事を思う時に、私の町内は1軒の家が流され、7軒の家が再建不能で取り壊すと言う大きな被害を受けましたが、お陰様で一人の怪我人も出ず、全員が無事避難することが出来ました。

私達の所は地形が急峻で雨が降ると短い時間で増水し、雨が止むとすぐに水かさも減ると言う特徴をもっております。また、お年寄りも多く、早朝でしかも短時間の間に一人の怪我人も出さず避難するのは、至難の事では無かったかと思っています。そのことを考えてみますと、これは日頃の地域のコミュニケーションと言いましょうか、お互いのご近所付き合いの成果ではなかったかと思えます。誰か、いち早く川の異常に気がついた人が、隣近所に危険を知らせ、聞いた人は更に隣へ伝える。この輪がいち早く広まって、誰に指示される事も無く、ひとり一人が自分の判断で行動した結果では無いかと思えます。誰かに言われたから、避難命令が出たから避難する、これでは手遅れです。今回の場合も、その様な余裕は全くありませんでした。また、自治会の役員は町内の地形、危険な場所などを把握しておくことも大事でしょうし、住民の生活環境、いわゆる一人暮らしであるとか、お年寄りだけの家庭である等の個別情報を事前に把握しておくことも、大切であろうと思えます。幸いにも私の町内の場合は、役員の殆どが子供の頃から地区内に住んでいて、町内の事を熟知した人達ばかりでしたので、対応も適切に出来、この二つの事がうまくマッチングして、このような良い結果に繋がったものと思っています。

今日現在まだ復旧工事が続いています。被災当時は全国から本当に沢山のボランティアの皆様方のご支援を頂きました。また、行政のお力により復旧・復興の作業が着実に進められています。この事に心からお礼を申し上げまして、私の話を終わらせて頂きます。



写真4.一乗谷川氾濫状況③



写真5.一乗谷川被害状況①



写真6.一乗谷川被害状況②

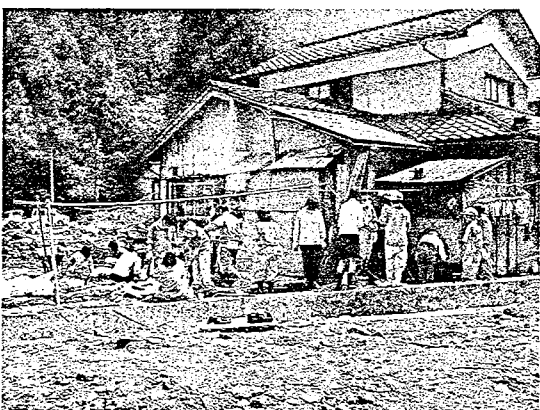


写真7.ボランティア活動状況